

## 令和3年度 社会福祉法人清徳会 事業計画

社会福祉法人清徳会は、基本理念に基づき、地域福祉充実のため「地域ニーズに合う事業展開」「施設及び設備の整備・充実」「健全で安定的な運営」「感染症や災害等への対応力強化」「職場環境の改善、介護人材の確保・育成」を念頭に置いて事業運営を推進する。

### 1 地域ニーズに合う事業展開

- ① 国の社会保障制度並びに高山市老人福祉計画・第8期介護保険事業計画を注視し、介護保険制度の趣旨を見極め入居者並びに利用者等に周知するとともに、施設における各事業の運営をより効率的なものとするよう、情報の収集・活用とPDC Aサイクルの推進に取り組む。
- ② 社会福祉法人制度の下、社会・地域貢献への充実を図り、社会福祉法人としての本来の機能と役割を果たす。
- ③ 住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、必要な介護サービスが切れ目なく提供されるよう地域包括ケアシステムの推進に取り組む。
- ④ 利用者満足度の聴取、分析、結果の評価を行い利用者のニーズに応えるよう努める。
- ⑤ 地域、関係団体等に清徳会の活動内容を理解していただくため、ホームページ等を活用した積極的な広報活動を行う。また職員に対しても、清徳会職員としての意識を高めるため内部広報を積極的に行う。

### 2 施設及び設備の整備・充実

- ① 施設介護の新たな方向性（入居者のプライバシー保護・重度化、職員の労務負担軽減）に対処できるよう必要な設備や備品などの充実に努める。
- ② 施設や設備などの老朽化等に伴う改修や更新に努める。
- ③ 清徳会宙交流館を地域福祉活動の拠点として活用を推進する。
- ④ 災害時における高齢者の避難拠点（福祉避難所）としての役割を担うなど、地域における社会福祉施設として施設及び設備の整備・充実に努める。

### 3 健全で安定的な運営

- ① 特別養護老人ホームの入居利用率98%、ショートステイの利用率90%、デイサービスの利用率90%を目標として、決められた介護報酬の中で新規・上位の加算を取得し、最大限の収益を確保するとともに、業務の効率化・見直しを行い、費用の節減・削減を図り、的確な予算管理と計数管理を行い情勢の変化に対応できる経営基盤を確立する。

- ② 令和3年度の介護報酬改定を踏まえ、今後、介護業界で標準化が見込まれる科学的介護の実現に向けて、ケアの質の向上の取組に積極的に参画し、介護報酬の各種加算を取得する。
- ③ 施設・設備の整備に当たっては、積極的に国・県等の公的補助金を活用し、費用の圧縮に努める。
- ④ 地域から求められる活動の実践に取り組むため、介護教室等を開催し、地域のまちづくり協議会等との積極的な交流を図る。
- ⑤ 財務状況の公表はもとより適正な情報を外部に公表することにより、利用者等に対する法人の信頼性を高めてゆく。

#### 4 感染症や災害等への対応力強化

- ① 感染症のパンデミック、大地震や豪雨等の自然災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供できる体制を構築し、BCP（業務継続計画）が確実に実行できる組織的な取り組みを強化する。
- ② 近隣地域との連携を強化し共に歩む施設づくりを進め、災害の際は地域の拠点として安全性が確保できる施設であるよう研修・訓練を実施する。
- ③ 介護等に係る事故発生の防止と発生時の適切な対応を推進するため、リスクマネジメントを強化する。

#### 5 職場環境の改善、介護人材の確保・育成

- ① 働き方改革を推進するとともに、ハラスメント対策を強化し、働きやすい職場環境づくりに努める。子育てに優しい職場として、託児室の活用、育児休業期間の延長や、男性職員の育児休業取得を促進する。また、見守り機器や移乗・入浴支援機器など介護ロボットの導入による介護負担の軽減策を講じることにより、介護サービスの生産性向上に取り組む。併せて介護人材の育成と担い手の確保を図り、円滑に休暇が取得できる体制づくりを目指す。
- ② 職員の資質向上を目的として各種研修を計画し実施することにより、社会福祉従事者としての自覚を持ち、責任醸成及び組織人として互いを尊重し合い、信頼し合える人間関係を構築する。

また、入居者、利用者により高度で専門的なサービスを提供できるよう、研修を通じて職員の専門知識を高めるとともに、職員の資格取得も推奨する。
- ③ 臨時職員から正規職員への登用など柔軟な採用方法を実施するとともに、多様な働き方により雇用機会の増大を図る。
- ④ 福利厚生充実と昇給を確保すること等により処遇全般の改善を図るとともに、働きがいのある職場づくりの一環として教育と評価一体型の仕組みを構築し、キャリアアップを図る。